

地区広報

# すいざわ

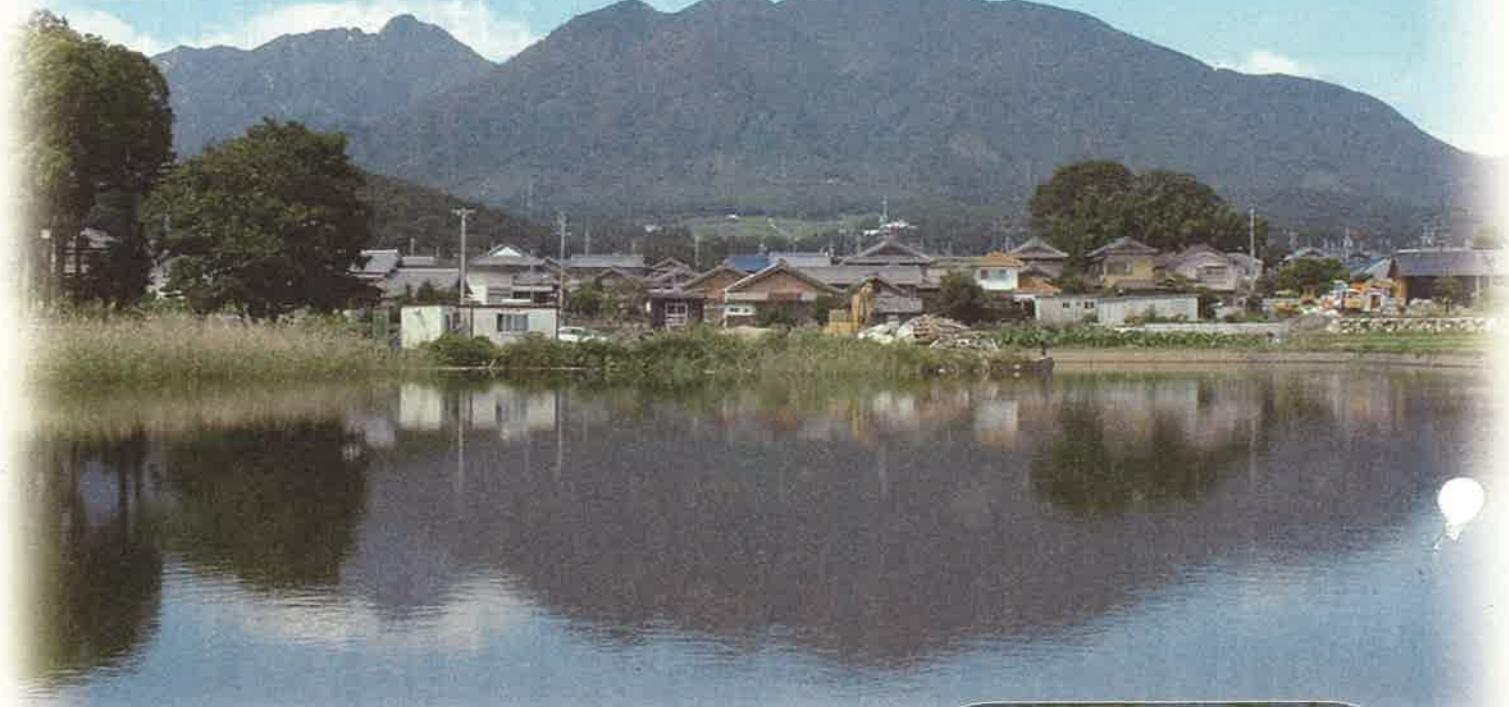
平成 19 年 3 月

No.54 号

題字：水沢小学校 6 年 辻 夏穂さん



処理場



地神池とオオハクチョウ

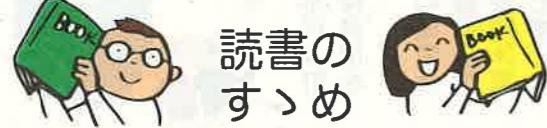
待ちに待った集落排水施設が完成し、  
4 月から供用開始します。

これにより、自然に恵まれた水沢の川や池の水  
がさらにきれいになり、魚や野鳥などが増えます。  
水沢の優れた環境を求めて多くの野鳥や渡り鳥も  
訪れきっと気に入ってくれると思います。



水沢地区の人口

総数……3,543 人 男……1,711 人 女……1,832 人 世帯数……1,115 世帯 (19.1.30 現在)



私の娘たちが小さかった頃、車で十分くらいの所に、桔梗ヶ丘図書館があり、よく連れて行きました。その児童図書コーナーには、小さなソファーやおかれ、カーペットも敷かれていました。そこで、子どもたちは、ひざに乗せて、よく読み聞かせをしました。たくさんの絵本の中でも子どもたちは、今日はどれを見ようかとても楽しそうでした。しかし、みんなに絵本が好きだった子どもたちは、小学生になると全く本を読まなくなりました。それは、引越しで図書館が遠くなつたことと、小学校の図書館があまり活用され

れていなかつたことが原因のようですが、私は、子どもたちに本を読むよう薦めましたが、手に取ろうとはしませんでした。子どもたちが再び本を読むようになったのは、中学一年生の時、一冊の本に出会つたからでした。その一冊の本は、子どもたちの持つ「読書」の定義を根本的に変えることとなつたのです。

私は、ある本に書かれていたことを思い出しました。その本には、「どんなに良い本でも難しくて手に負えないような本は、その子にとって不適切である。どんなに名声の高い作

品であつても興味を惹かない本はそのままの子にとつては駄作である。」と書かれていました。その一冊の本との出会いによって、子どもたちは暇さえあれば、読書を楽しむようになつたのです。最近は多くの小学校が、よりたくさんさんの本を知り、自分に合う一冊に出会つてもらおうと「朝の読書」の時間を設けています。皆さんも、図書館や本屋さんを回つて話題になつた本、興味のある本を、手に取り開いてみてはどうでしょう。自分に合う一冊をみつけることができるかも

（清水ひとみ）

## 農村の下水道 農業集落排水事業

### 農業集落排水事業は、水の洗濯屋さん

生活雑排水を集めて、きれいにします。



▲川で水生生物を調べています。



地神池の近くに「ガワニナ」がたくさんいます。

農業用水路や河川の水は、かつては美しく澄んで子どもたちが安心して、遊ぶことが出来ました。ところが、生活が近代化し、家庭からの排水が増加し、自然の力で浄化することができなくなりました。この使つた水をそのまま捨てる、汚れた水が家の周りに溜まり、悪臭を放つたりハエや蚊が発生したり、また、農作物に被害を与えていたりします。生活環境を悪くするだけではなく、最終的に流れ込む川や海を汚すことになります。

農業集落排水事業は、トイレ・台所・風呂場などの污水を集めて、汚水処理施設できれいにする「水の洗濯屋さん」を作る事業です。この事業により、農業用水路の水質を守り、生活環境を改善し、さらには自然環境も守り、明るく、住み良いまちをつくります。水は自然からの恵みです。自然環境を守るために、私たちにはきちんと処理する」とが必要ではな

いでしょうか。

（清水ひとみ）

## この自然いつまでも残しておきたい！

供用開始が4月1日に

水沢中部地区農業集落排水事業推進委員会  
会長 清水 武

近年農村の状況が変化するなかで、地区内の水路や河川の水質の悪化が進行し、その環境浄化を目指して、平成12年から取り組んできました農業集落排水事業が、最終工事である終末処理施設の工事もようやく完成し、供用開始することに決定いたしました。

長期間ご不自由をおかけいたしましたが、供用開始以降は下記により速やかにご使用（ご利用）いただきますようお願いいたします。

### 1. 排水の接続

●便所、洗面所、浴槽、台所の使用水

### 屋根つきの外流しは 集落排水へ

●雨水、茶工場・作業所等の使用水（洗浄水）

### 屋根のない足洗い場は、側溝、水路へ

### 2. 配水管（本管）への接続の期限

合併処理浄化槽・単独浄化槽の設置者は **1年以内** に接続してください。

汲み取り便所の方は **3年以内** に接続してください。

水沢東町組合長 伊藤 俊彦  
良くなつた点

- ・待ちに待つた集落排水が四日市市で四番目に完成しました。平成十年四月より家庭に接続が始まり、三年間で九十%の家庭が接続しました。小川には「沢がに」や「もろこ」が戻ってきました。休日には子どもたちが川で魚を捕まえ、姿が見られます。
- ・小学生のお母さんの話では、友人が遊びにきて、「家のトイレスは水洗よりも大きな顔で話ができる」との声もあります。来客の方に遠慮なく「使ってください」と言えるようになりました。
- ・農家では、田んぼに肥料分の混ざった水が入らないので、稻が均一に生育するようになりました。
- ・水沢東町組合長 伊藤 俊彦  
良くなつた点

水沢野田町組合長 田川 哲  
良くなつた点

- ・水沢野田町全家庭利用が始まったのは平成十三年四月です。生活排水は水田水路を利用していたため、ハエ、蚊などの発生が見られました。が、集落排水完成後、激減しました。
- ・水沢野田町組合長 田川 哲  
良くなつた点

#### 問題点

- ・使用開始当初、中継ポンプが詰まつて困りました。（原因是小さい物でも上下弁に詰まる）
- ・始めは規約を守っていましたが、年数がたつにつれて守らない人がいます。
- ・使用料は始め四年間ぐらいいは支払い期日を守つてくださいましたが、現在未納者が出てきています。
- ・家庭内の樹掃除がやりにくいとのことで見せてもらつたら、木が小さかったです。若い人には金融機関を替えたいとの声もあります。
- ・食用油は洗剤で乳化させてから流しました。これが良い。木やパイプが詰まる原因になります。

#### 問題点

- ・中継ポンプに汚物が詰まつたことがあります。掃除が大変でした。
- ・機関が指定されたため料金の引き落としができず、滞納している方がいます。

#### 注意

- ・工事店から配管経路図を必ずもらい、水道・排水ともに管の位置を自分の目で確認しましょう。



# 水沢ミニ情報

## 学童保育所を開所します



平成十九年四月一日より水沢本町構造改善センターにて学童保育所を開所することになりました。

●

学童保育所とは、保護者の就労などにより昼間留守になる家庭の小学生を対象として、放課後や長期休暇期間中に保育する生活の場です。これは、地域の役員や保護者によって組織された運営委員会が、市からの補助金と利用料の徴収によって独自の運営で行われます。

## 《お願い》

お宅で眠っている児童書はありませんか？  
使わなくなったカラーBOX・本棚・整理ダンスなどはありませんか？  
お子様が大きくなられて要らなくなってしまった絵の具・クレヨン・色鉛筆・お習字道具・パズル・卓上ゲーム（電池・電源を使用しないもの）・縄跳び・ボールなどありましたら、運営委員会・田中までご連絡ください。

☎059（329）2816まで



## 驚きの目を見開く子どもたち

約三百七十年前の二枚の絵図



この水沢地区でも、小学校低学年や障害のある子どもたちも安全で安らげる環境で付き添いや見守りが得られ、身体をのびのびと動かし豊かに育むことのできる場所、そして老若を問わず互いに理解し人間性を培养うことのできる環境創りを目指しているとうございます。

地域に開かれた子育てを目指していくために、地域の方々に気軽に立ち寄っていただけますようお待ちしています。

内部川用水絵図は、水沢村と周辺十一ヶ村の内部川等からの取水の状況『出水』（湧水源）の利用の状況が詳細に描かれている。  
この二枚の絵図には、『水神・辻久善さん』の当時の苦労の跡が見えてくる。

今水沢小学校では、『こどもお諏訪おどり』を毎年演じており、水に

視点を充てた学習とともに、市指定無形文化財『お諏訪おどり』（伝統芸能）が子どもに受け継がれている。

子どもたちが、水沢の歴史を探る活動の中で、二枚の絵図を前に、その当時の時代背景を正しくとらえ、『どんな出来事』があつたのか、そして今の姿につながっているのかを受け止めてくれた場であった。

今、『教育』についていろいろ論じられているが、水沢の子どもと先生が『水沢の地だからこそ取り組むことができる・地域に目を向けた活動』を展開している姿を目の当たりにして、『ほっとした思い』に駆られ、

ここに子どもを育てる場・活動があるのだと確信し、このような場を与えていただき『ありがとうございます』と思わず感謝の言葉が出た。

これから一人でも多くの子どもたちが、『水沢つてすごい所やなあ』『水沢をみんなに誇れるなあ』『これからも自分の知ったことをみんなに伝えたい』等思ってくれることを願うものである。

（清水 正茂）

私は『わが愛する郷土 水沢の今と昔』の発刊を機会に、この二月母校水沢小の六年生の前で、二週・四時限『今にいたる水沢の人々の生活の足跡を追つてみる』授業の場・機会を与えていただいた。

具体的な資料を得にくい昔の人々の生活。その中で、江戸時代前期の二枚の絵図（地区市民センター蔵）――水沢村絵図写・内部川用水絵図――は、貴重な文化財・資料である。

この絵図、前者は隣村との山の領域をめぐる争いであり、（山論）、もう一方の絵図は、『水論』への道を開いた相論を示すものである。

開いた相論を示すものである。

（清水 正茂）

中川 雅代 様（水沢東町）

ご寄付ありがとうございました



内部川用水絵図



水沢村絵図写